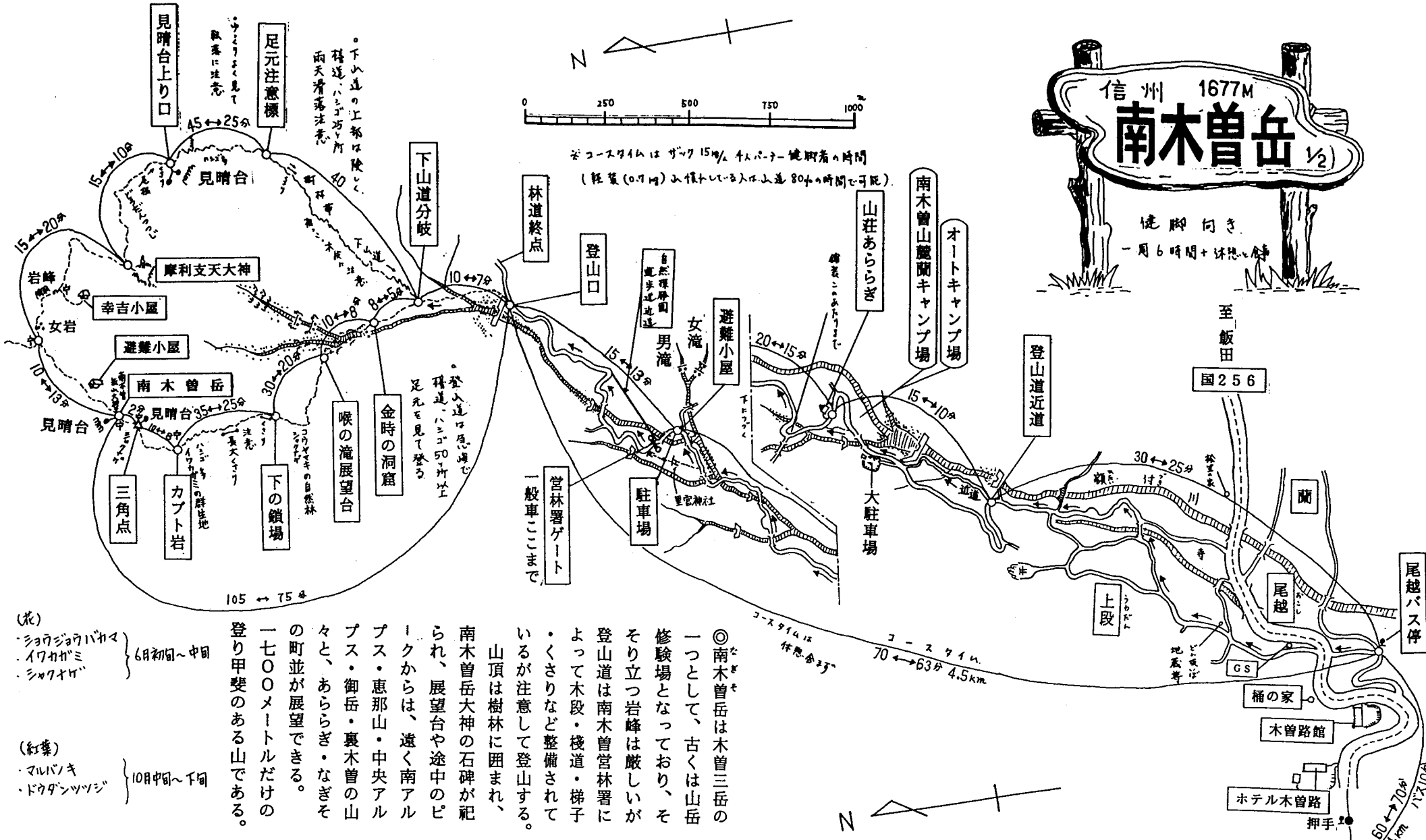


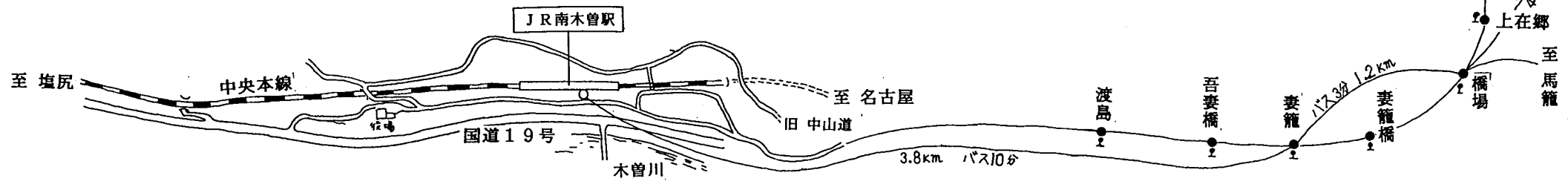
コースタイムは平均15分/人、4人パーティー健脚者の時間
 (軽装(0.7kg)の重装(1.3kg)は入らずに80%の時間で可也)

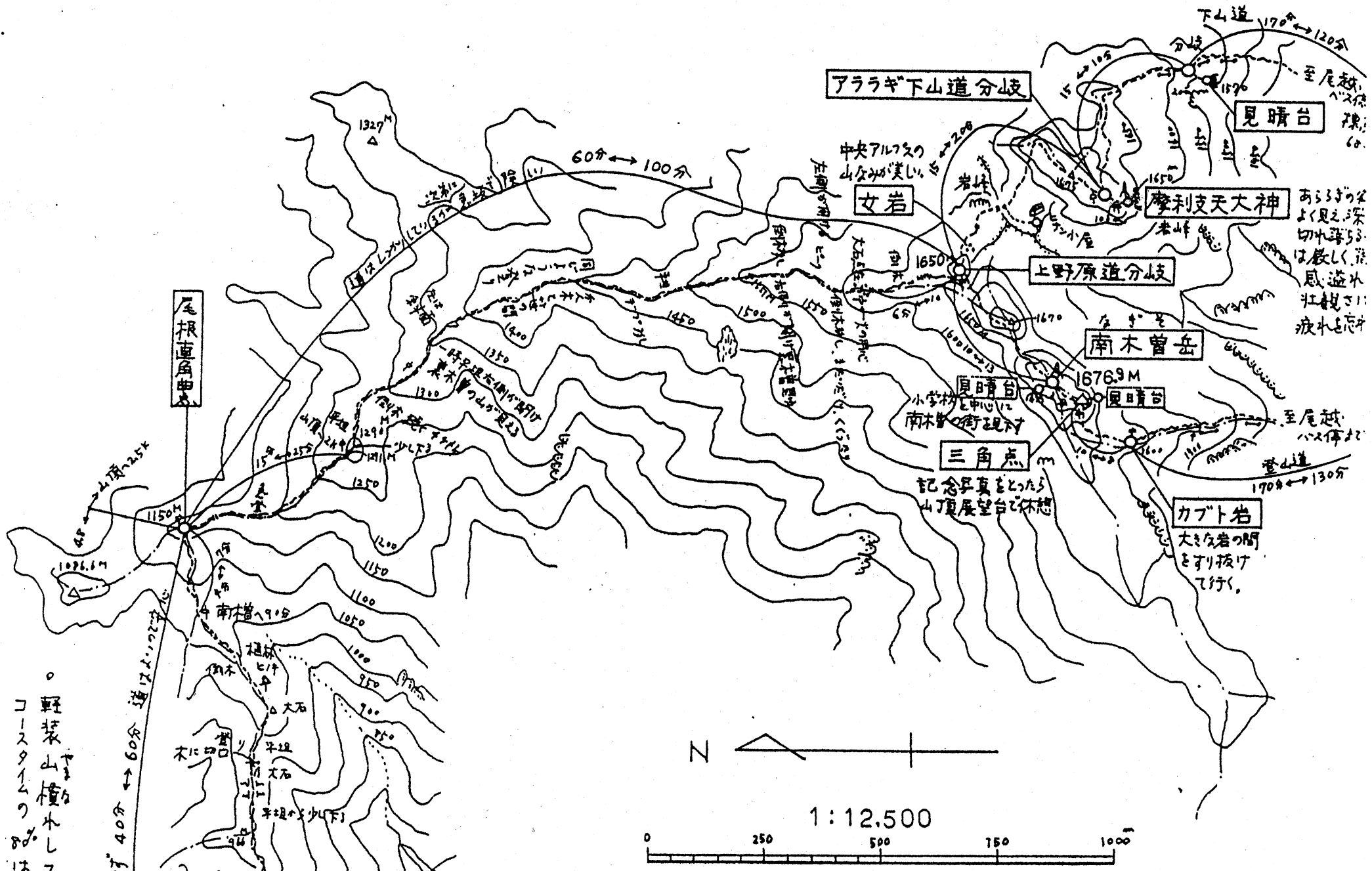


◎南木曾岳は木曾三岳の一つとして、古くは山岳修験場となっており、そそり立つ岩峰は厳しいが登山道は南木曾管林署によって木段・棧道・梯子・くさりなど整備されているが注意して登山する。山頂は樹林に囲まれ、南木曾岳大神の石碑が祀られ、展望台や途中のピークからは、遠く南アルプス・恵那山・中央アルプス・御岳・裏木曾の山々と、あららぎ・なぎその町並が展望できる。一七〇〇メートルだけの登り甲斐のある山である。

(花)
 ・シロシロウバノハ
 ・イワカガミ
 ・シメツクサ
 } 6月初旬~中旬

(紅葉)
 ・マルバノキ
 ・ドウダンツツジ
 } 10月中旬~下旬



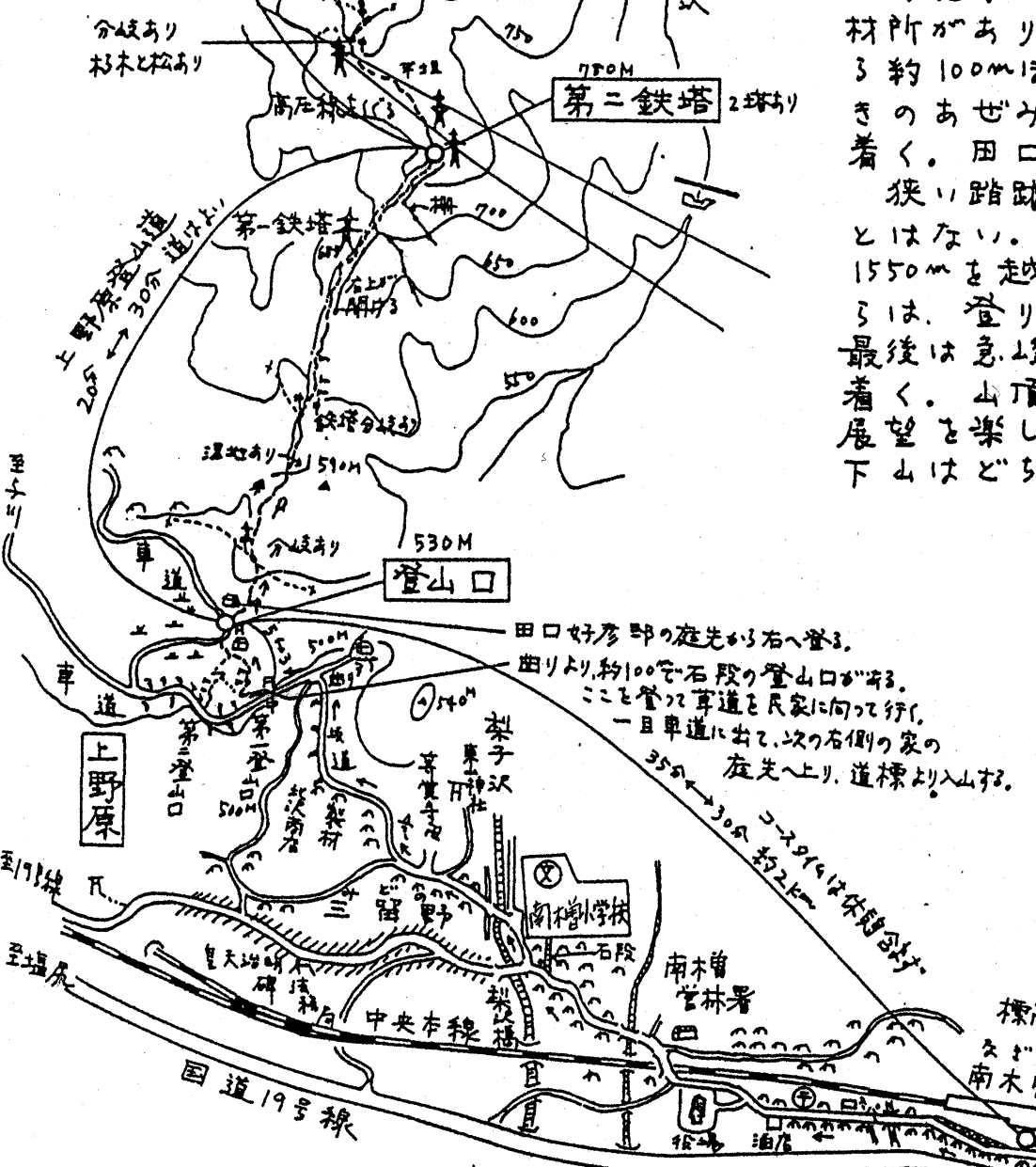
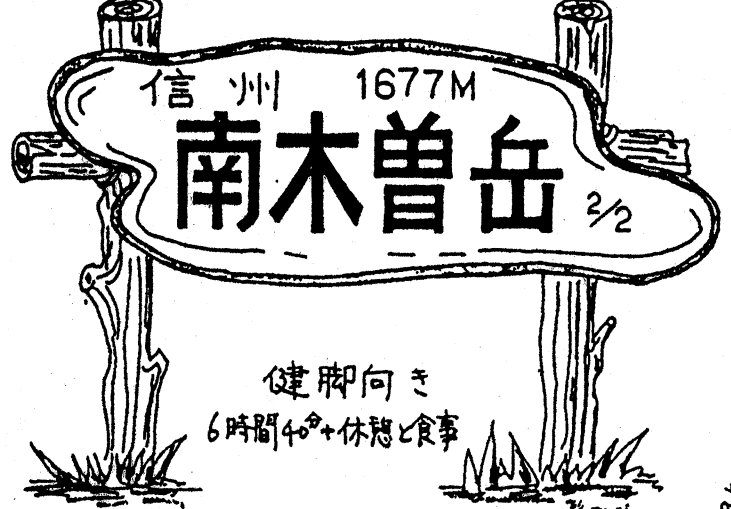


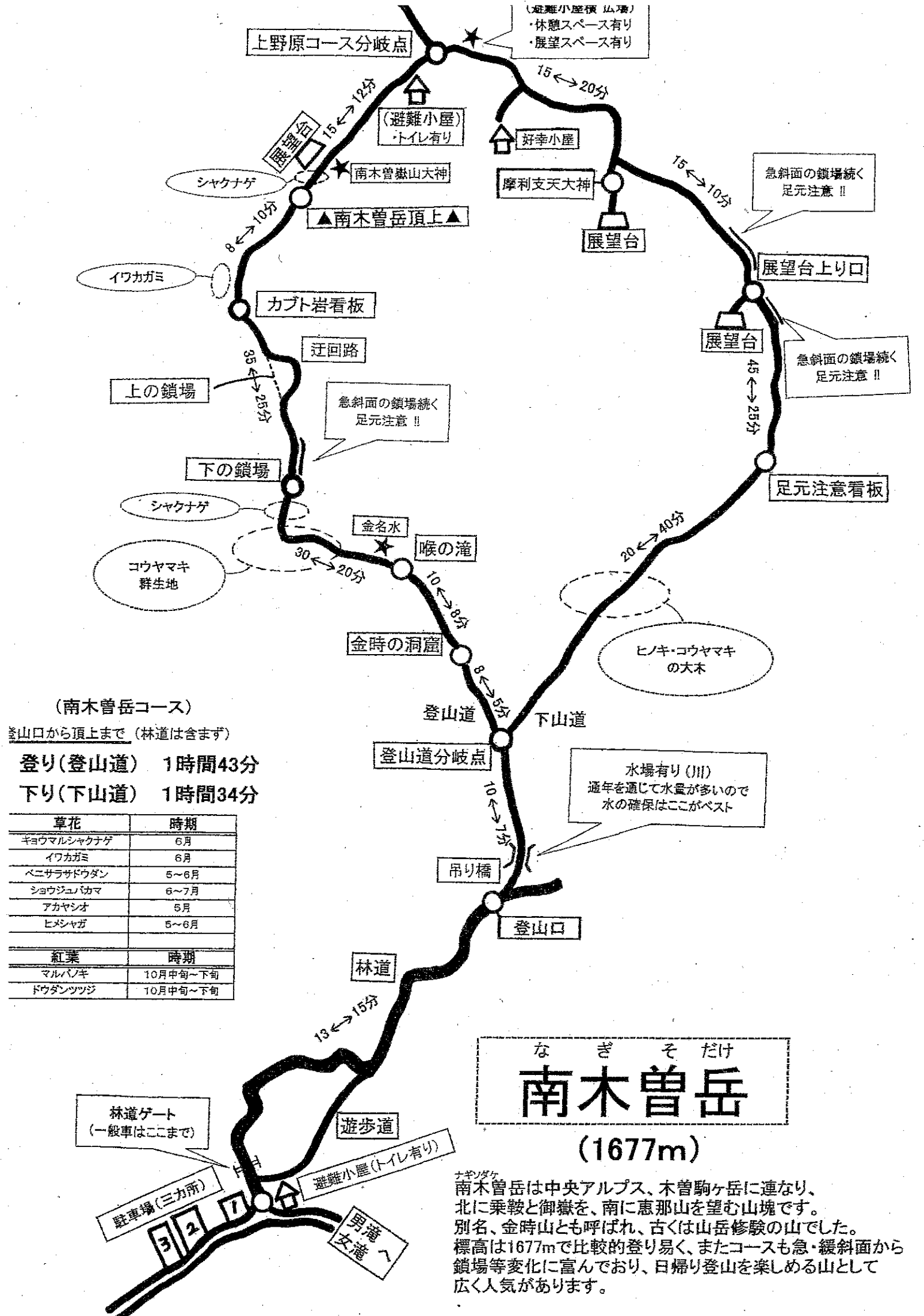
軽装山積水してゐる人でも
コースタイムの80%はかかる。

コースの紹介

上野原道について (コースタイムは、ザック15%、4人パーティ健脚者の所要時間)

上野原登山道は、南木曾駅前から商店街を右へ行く。国鉄跨線橋を越え読書小学校入口の石段を過ぎたら、梨沢橋を渡らず、右へ曲り、次の橋を渡る。右側にある等覚寺の前を過ぎ、右の道を登って行く。左側に製材所があり、道は右に曲り、突き当たって左に曲って約100mほど行くと、道標があり、石段を登ると草つきのおせみさきに登ると、いったん車道に出て登山口に着く。田口好彦邸の庭先を通り抜けると道標がある。狭い踏跡を登ると、道はしっかりした山道で迷うことはない。植林とかん木、笹の間を終始行くコースで、1550mを越えなると展望はきかない。尾根直角曲点からは、登りも急になってくるが、ときどき平坦になり、最後は急峻な登りを一気に稼げば、女岩のある分岐に着く。山頂は右へ10分余り、三角点は2分先にあるが、展望を楽しむには見晴台に立つとよい。倒木に注意。下山はどちらを選んでもよい。足元に注意して下る。





上野原コース分岐点

(避難小屋横 広場)
・休憩スペース有り
・展望スペース有り

(避難小屋)
・トイレ有り

好幸小屋

摩利支天大神

急斜面の鎖場続く
足元注意 !!

▲南木曾岳頂上▲

展望台

展望台上り口

カブト岩看板

迂回路

展望台

急斜面の鎖場続く
足元注意 !!

上の鎖場

急斜面の鎖場続く
足元注意 !!

下の鎖場

足元注意看板

コウヤマキ
群生地

金名水

喉の滝

ヒノキ・コウヤマキ
の大木

金時の洞窟

(南木曾岳コース)

登山口から頂上まで (林道は含まず)

登り(登山道) 1時間43分

下り(下山道) 1時間34分

草花	時期
キョウマルシクナゲ	6月
イワカガミ	6月
ペニササドウダン	5~6月
ショウジュンカマ	6~7月
アカヤシオ	5月
ヒメシャガ	5~6月
紅葉	時期
マルバノキ	10月中旬~下旬
ドウダンツツジ	10月中旬~下旬

登山道分岐点

水場有り(川)
通年を通じて水量が多いので
水の確保はここがベスト

登山道

下山道

吊り橋

登山口

林道

なぎそだけ
南木曾岳

(1677m)

林道ゲート
(一般車はここまで)

遊歩道

避難小屋(トイレ有り)

駐車場(三カ所)

男滝
女滝

ナギソだけ
南木曾岳は中央アルプス、木曾駒ヶ岳に連なり、北に乗鞍と御嶽を、南に恵那山を望む山塊です。別名、金時山とも呼ばれ、古くは山岳修験の山でした。標高は1677mで比較的登り易く、またコースも急・緩斜面から鎖場等変化に富んでおり、日帰り登山を楽しめる山として広く人気があります。